

原子力開発利用長期計画の予備的検討に関する調査の状況について

平成11年2月16日

原子力調査室

「原子力開発利用長期計画の予備的検討に関する調査」については、昨年11月に原子力委員会から（社）日本原子力産業会議（以下「原産会議」という。）に対する調査委託により行われている。原産会議においては、現在、各界の有識者等から原子力に対する意見を聴取する等の作業を行いつつ、今後の原子力開発利用を考える上での論点を整理しているところであるが、現在までの調査状況については以下のとおり。

1. 基本問題

- 現行原子力長期計画の策定以降の原子力開発利用の進展状況について情報収集・整理を実施中。
- 原子力長期計画の変遷について整理、評価を実施中。
- 原子力関係機関における研究開発の現状について情報収集・整理を実施中。
- 諸外国における原子力の研究、開発、利用の状況について情報収集・整理を実施中。
- 安心と安全の相違点についての概念整理を実施中
- 軽水炉発電に関する検討課題の抽出を実施中

2. 高速増殖炉・先進リサイクル

- 高速増殖炉・先進リサイクルに関する研究開発の現状及び今後の課題について情報収集、整理を実施中。
- 経済性、環境負荷低減等21世紀の核燃料サイクルに求められる要件について整理を実施中。
- 核燃料サイクル開発機構における今後の研究開発のあり方について情報収集、整理を実施中

3. 放射線利用

○人に密着した原子力という観点から、生物、医学分野等における放射線利用の現状、将来の発展性及び今後の課題等について整理を実施中。

4. 国際協力

○国際協力と国益、戦略的思考及びアプローチ等の視点から、アジア、欧州、米国の地域特性に鑑みた協力の進め方、核不拡散に関する原子力政策のあり方等の項目について情報収集、整理を実施中。